

# わくわく橘っ子

橘小学校

人権教育便り NO. 4

令和6年6月



## ～橘ふれあいウォークラリーに参加して～

橘ふれあいウォークラリー実行委員会主催、橘地区社会福祉協議会・橘町地域自主防災会共催の「橘ふれあいウォークラリー」が5月26日（日）に開催されました。橘町の避難場所のチェックポイントを巡ることで、地震・津波時の避難場所を確認し、防災意識を高めることを目的としています。

橘小学校児童は、保護者の方と一緒に参加することで、災害発生時にどこへ逃げたらよいかを確かめたり、話し合ったりすることができました。保護者の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。

### 「自分の命は自分で守る」「みんなの命はみんなを守る」

この言葉を合い言葉に、ウォークラリーに参加した橘小学校児童の感想を紹介します。防災を自分の問題として真剣に考えていることが分かります。

- じぶんのいえのちかくのにげるところがわかりました。わたしたちのいのちをたすけるために、ウォークラリーをしてくれてありがとう。（1年生）
- ひなんしてから生きるために、ひなんばしょにぼうさいそうごがあることを学びました。ちいきのかたがた、ぼくたちのためにありがとう。（2年生）
- 病気の人、手や足、目や耳の不自由な方のためにも、さまざまなひなんけいろがあったり、何度もぼうそうしたりすることがわかりました。たちばなふれあいウォークラリーをひらいてくれてありがとうございました。（3年生）
- 橘町は、海に近いので津波が来やすいです。だから、地域の小さい子からお年寄りまで全員がウォークラリーをしていてすごくいいと思いました。防災公園にある防災倉庫の中を見て安心しました。（4年生）
- 避難場所では、障害をもっている人や妊婦さんなどもいるので、避難したとき、自分がどんなことを手伝えるかを考えていきます。また、いくつかの逃げ道や防災バックの中を確認し、安心できる備えをします。（5年生）
- 毎年ウォークラリーをすることで、避難場所を思い出せます。たくさんの避難場所を知るだけでなく、地域の方々と交流することもできました。実行委員会・社会福祉協議会・自主防災会の方々が、私たちが安心できるように倉庫の中を見せてくださったり、防災について楽しく学べるように工夫してくださり感謝しています。ありがとうございました。（6年生）

七つのチェックポイントを、家族でウォーキングを楽しみながら巡りました。



